

# 令和2年3月立山町議会定例会代表・一般質問通告概要

(R 2. 3. 3～19)

## ※ 質問順番（1番のみ代表質問）

1番	佐藤	康弘	議員	6番	髪口	清隆	議員
2番	澤井	峰子	議員	7番	坂井	立朗	議員
3番	岡田	健治	議員	8番	石田	孝夫	議員
4番	荻生	義明	議員	9番	平井	久秋	議員
5番	村上	紀義	議員	10番	後藤	智文	議員

## 1番 佐藤 康弘 議員（代表質問）

### （1）新年度予算案の編成方針等について

今回の予算編成にあたって、特に重点的に取り組むことや、留意したことなど予算編成にあたっての基本的な考え方について、また、町の借金である町債残高の見通しや貯金にあたる財政調整基金の状況など、将来の町財政の見通しについて。

### 【「安全・安心」たてやま】

#### （2）－1 新型コロナウイルスについて

現在、新型コロナウイルスの感染が全国的に広がっている。町では町長を本部長とする対策本部を設置し、感染予防対策が進められている。今回、政府の要請への対応を含めこれまでの町の対応について、特に、児童生徒や高齢者への感染が心配されるが、どうか。現在、富山県には感染者が発生していないが、心配するところである。

#### （2）－2 自然災害への対応について

今年度、国の方針を踏まえ、新たな洪水ハザードマップを作成し、各家庭に配布する予定と聞いている。作成にあたり、どのような雨量の想定で行っているのか。これまで指定していた避難所が使えなくなる地域については、どのように対応するのか。

また、今回の予算で、防災行政無線の戸別受信機の貸与や避難所となる体育館などに公衆無線LANを整備するなど、防災対策を充実するとしているが、それぞれどのように進めるのか。

#### （2）－3 交通安全環境の整備について

全国で児童生徒が巻き込まれる悲惨な交通事故が発生している。今回、国の補正予算で交通安全対策の予算が追加配分されるとのことだが、町では、どのような安全対策を進めてきたのか。また、今後ソフト面の取り組みも含めて、どのような対策を進めていくのか。

### 【「魅力・活力」たてやま】

#### （3）－1 鳥獣被害対策について

今回、富山地区広域圏事務組合で、有害鳥獣の焼却施設の計画が進められる事となり、立山町に施設を整備する予定と聞いている。この事業は、広域圏事務組合で進められることとなるが、町内で焼却施設が整備されることとなった経緯や理由について、今後の整備スケジュールと併せて。

### (3) - 2 立山地区と上東地区のグランドデザインについて

県において、「立山・黒部の世界ブランド化」に向けた施策を推進しており、さらなる誘客が期待される。今回の予算案では、地方創生推進交付金等を活用し、立山駅周辺の整備や、近年、民間開発が進んでいる上東地区の活性化に向けた各種の取り組みが計画されているが、当該地域において具体的にどのような取り組みを進めるのか。アルペンルートの観光客への効果は。

### (3) - 3 五百石地区の公共施設の再編について

町民会館や役場庁舎、五百石公民館など老朽化している公共施設が多い。今後、町中心部の公共施設等の配置計画を検討することとし、関係予算を計上されている。財源を含めてどのようなイメージで、町中心部の再編計画を検討しようとしているのか、現時点での考えは。

## 【「人・未来」たてやま】

### (4) - 1 子育て環境の充実について

町では、これまでも様々な子育て支援策を進めているが、近年の出生率は県平均を下回っている状況にある。子供の出生率が上がらない要因についてどのように分析しているのか。町では令和2年度から第2期「子ども・子育て支援事業計画」を検討され、現在、パブリックコメントが実施されているが、この計画で今後、重点的に取り組む施策や推進方策は。

### (4) - 2 学校教育の充実について

国においては、高度情報化時代に生きる子供たちの未来を見据え、児童生徒に一人一台の学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する「GIGA（ギガ）スクール」構想を進めている。町でも今回の補正予算で所要の予算を計上しており、今後、機器を活用し一人一人の学習レベルにあったきめ細かな教育が期待される。どのように情報端末や通信環境の整備を進めていくのか、また、当該機器を活用し、どのような教育を行っていくのか。

### (4) - 3 移住定住対策の促進について

人口増加対策は、どの自治体も力を入れて取り組んでいる課題だが、本町の人口動態についてどのように分析しているのか。また、今回の予算で新たな移住定住対策や補助要件の見直しもされたと聞いているが、これらを含め移住定住対策についてどのように進めていくのか。

## 2番 澤井 峰子 議員

### (1) 立山町のリ・デザインについて

- ①2022年を目指し、町のかたちをリ・デザインするとの強い決意を伺い改めて、公共施設等の再編計画、また立山グランドデザイン等への具体的な構想を伺う。
- ②第10次総合計画策定にむけた総合計画審議会を終え、見えてきた方向性、今後のスケジュールを伺う。

### (2) 危機管理体制の強化について

- ①防災の観点とは違う「国土強靱化地域計画」策定について、強靱な行政機能（職員のテレワーク体制など）地域社会、地域経済の具体的な方向性を伺う。
- ②今回の新型コロナウイルス感染症対策本部設置を受け、わが町で発症があった場合の対応は。

### (3) 防災・減災について

- ①1,000年に一度の豪雨を想定したハザードマップが配布されるが、浸水により指定避難所が

使用できない地区があることから、自主防災組織による地区防災計画が重要であり、各組織に応じた話し合いができるよう手引きを作成すべきと思うが見解を伺う。

②戸別受信機の配布対象とならない町民へ、行政情報提供に LINE は有効であると考えている。他の自治体でもトーク面上部のバナー表示や公式アカウントで情報発信している。見解を伺う。

#### (4) たてポカードの充実について

①加盟店の拡充の見込みは。

②新婚世帯や子育て世帯が幅広い分野で使用できることが重要である。一時預かり保育や予防接種等に活用をと思うが見解を伺う。

③町民が自由に資源回収できるコンテナを活用し、ポイント付与を検討してはと考えるが見解を伺う。

#### (5) 生ごみの減量化について

ごみ減量活動奨励ポイントが新しく付与されるが、各家庭の生ごみを家庭用ディスポーザー設置で減量できればと考える。値段も様々ではあるが設置家庭への助成をしている自治体もある。町の見解を伺う。

#### (6) がん対策について

①AYA世代（15歳から39歳）のがん患者の町の現状と支援を伺う。

②アピアランスケアとして医療ウィッグに対しての助成をと思うが町の対策を伺う。

### 3番 岡田 健治 議員

#### (1) 黒谷美術製造の聖観音菩薩像の引っ越し先に、名乗りを

2月3日の新聞に8号線沿いにある、高岡地場センターの駐車場に立つ黄金の聖観音菩薩像の移設先が確保されていないと記事が載っていた。所有者は、立山町利田に本社がある黒谷美術が昭和58年に製造建立したとある。作者は、文化勲章受章者の北村西望氏で、台座を含めて高さ9メートル、重さは6トン、青銅製に金箔1万5千枚を施して、時価総額1億円と言われるものである。

町民会館にも、西望氏作の観音像が玄関ロビーに黒谷美術から寄贈されて安置してあるし2階会議室にも「人生意気に感ず」の額も黒谷美術から寄付も受けて掛けてある。北村西望の代表作は、長崎の平和祈念像であり、国会議事堂玄関の「板垣退助翁」であり、日本彫刻界の最高峰と言われる西望氏の作品の移設先が確保されてなく、所有者である黒谷美術では、頭を悩ませていると聞く。

立山町の平坦地観光の目玉にもなろう。設置先として名乗りを上げたらどうか。せめて、「歓迎する。」と表明したらどうかと思うが、見識を問う。

#### (2) 宮崎忠次郎ぼんどり騒動の伝承と記念碑の顕彰について

この碑は、当時の五百石町長 黒田義秀氏、舟橋村村長 稲田健治氏、東谷村村長 大后松二氏、下段村村長 奥村権太郎氏、寺田村村長 金田重太郎氏、高野村村長 山川亨氏、大森村村長 安川五郎左衛門氏、釜ヶ渕村村長 松原豊二氏、上段村村長 舟見右衛門氏、立山村村長 佐伯新之助氏、利田村村長 西野興左衛門氏らが、発起人となり、昭和5年10月に建立したものであり、言わば立山町の顕彰すべき史跡財産であると言える。

こうした農民一揆は、隣県の長野県安曇野でも発生しており、日本10大一揆に数えられると日本大百科全書にも記載されている。安曇平の騒動は、貞享騒動と言われて、地域の文化として、1992年11月に「貞享義民記念館」がオープンして、義民塚、加助神社、記念館、教育

委員会が史跡巡りなどの事業を展開している。立山町は塚もあり、神社境内に鎮座もしているが、北日本新聞の前身の記者であった井上江花が、明治36年に新聞に72回に亘って連載した「塚越ばんどり騒動」に起因する。

今後、この記念碑の維持や義民騒動の伝承顕彰は行政としてどう考えるべきかを問う。

### (3) 子育て支援の充実、シングルマザー対策を念入りに

シングルマザーの80%が就業しているものの非正規労働のため、年間収入は133万円以下、2世帯に1世帯が相対的な貧困の生活水準だと、厚労省が2016年版、全国ひとり親世帯等調査結果の概要の中で述べている。欧米をはじめとする先進国の中で、極めて高いこの貧困率は世界的にも注目を浴びている。正社員と同じように働いているシングルマザーは給与面や待遇面が充実しておらず、ワーキングプア(働く貧困層)と呼ばれている。原因は要約すると、子育てと仕事の両立が難しいこと、給与や待遇が充実していないこと、病気やケガをすると収入がゼロになること等があげられ、全国的にもシングルマザーは緊急時に収入や家庭環境を補える状況にないことが、大きな弱点と言われている。子育ても隣近所に安心して任せておける親族や兄弟がいなくても問題を複雑にし、ストレスも溜め込んで児童虐待も発症している。

児童扶養手当や児童手当・医療費助成・無償化の充足も必要だが、食事の買出や生活協力の面倒を見てあげることが行政サイドに必要では。

### (4) 都市計画道路の見直しの詳細について問う

2月15日の新聞ニュースに県の都市計画審議会が開かれ、立山町の中心部と常願寺川の大日橋を結ぶ立山舟橋都市計画道路の変更など3路線について話し合われたとあるが、これらの変更によって、どうなるのかを問う。

①大日橋米沢線は、どうなるのか。富立大橋の供用によって、不要と考えて廃止なのか。

②前沢日俣線は、スーパー農道まで続くと聞いていたが、何年ぐらいで完了か。

③五百石商店街の真ん中を走る立山水橋線は拡幅だったと思うが、整備の方針はどうなる。

## 4番 荻生 義明 議員

### (1) 役場庁舎の更新について

役場庁舎は、行政、防災の拠点であり大変重要な施設である。現在の庁舎は、築56年になるが、今後の更新時期についてどのように考えておられるか。立山町公共施設マネジメント計画によると、2025年を目標年次と挙げてあるが町の考えを伺う。

### (2) 農業用水路の安全対策について

富山県では、近年農業用水路への転落事故が多くなり事故を未然に防止することを目的として、富山県農業用水路安全対策ガイドラインを作成したが、立山町ではどのような考えか。

### (3) 有害鳥獣の処理施設について

先日、富山地区広域圏事務組合で立山町での処理施設建設を検討するとあったが、今後どのように進んでいくのか。

### (4) 移動スーパーのサービス開始から現在までの実績について

移動スーパーが9月30日から始まったが、現在までの利用状況について伺う。

## 5番 村上 紀義 議員

### 【福祉について】

人生100年時代、長寿社会、認知症は発症初期の対応が重要であり、軽度認知障害の人は、そのまま放置すればほぼ3年で認知症になると報告されている。

#### (1) - 1 フレイル対策について

後期高齢者の増加に伴う健康寿命延伸、フレイル対策の推進に向け厚生労働省は令和2年度、フレイル健診を導入するとも聞く。昨年5月に改正高齢者医療確保法が成立し、フレイルの可能性のある高齢者の対策が期待されるとのことだが、社会保障費の削減にも結び付くと言われ、積極的に進めるべきと思うが、町はどのように捉え取り組むのかを伺う。

#### (1) - 2 成年後見制度の利用に向けて

長寿社会と共に認知症高齢者の増加、障がい者においても増えている。そんな中に成年後見制度の利用が進んでいるとは言い難いと聞く。成年後見制度利用促進基本計画が閣議決定され、市町村においても基本計画の策定が求められているとのことだ。特殊詐欺等が横行する昨今、高齢・核家族・一人暮らし社会において重要な制度と考えるが。

- ①本町の利用状況について伺う。
- ②成年後見制度の現況と取り組み課題を伺う。
- ③立山町社会福祉協議会や民生委員と連携は。

#### (1) - 3 地域福祉の担い手

地域福祉を計画的に推進し支えていくためには、担い手が必需である。現在の地域福祉活動を支えてきたのは、現役の60・70歳代が多い。若年、壮年世代の担い手が求められるが、難しい現実がある。早急な手当と支援策が必要と思うが町はどのように捉えているかを伺う。

#### (1) - 4 福祉避難所の在り方

福祉避難所の役割はどのように定義されているのか。また、各施設等との連携はどのようになっているのか。配慮が必要とする方に対する受け入れ対応と課題について伺う。

### (2) 防災対策について

昨年も全国各地で想定を上回る大きな自然災害が多発した。特に関東甲信・東北地方などでは甚大な被害を受け、多くの自治体に多大な損害をもたらした。そんな中に犠牲者の多くは、高齢者を中心とした避難行動要支援者であり避難遅れが際立った。頻発化する自然災害、強力化・巨大化している。起こり得る困難な状況を想定した対応を強化していくことが重要と思うが。

- ①「指定避難場所」へ行く前に高齢弱者を多く抱える集落（自治会）が自主的に開設する「一時避難所」を持っている地域がある場合、町として把握しておくことが必要と思うが対応について伺う。
- ②水害時における避難所・避難経路の見直しの有無と校舎開放について伺う。
- ③自主的な避難所として公共施設を利用できるかを伺う。
- ④配布されるハザードマップの内容に対する住民理解と周知について伺う。

### (3) 観光振興について（歴史と文化・「布橋灌頂絵」の誘客に向けて）

3年に一度、「布橋灌頂絵」が開催され、多くの観光客を期待するところだ。そんな中に起きた新型コロナウイルス騒動。一日も早い終息を願うばかりだ。インバウンド過剰になる経済と観光事業。今や風評の悪影響が忍び寄っている。こんな時こそ、国内をはじめとしたリピーター客も大切に、「おもてなし」を単なる固定したパッケージやマニュアルにしてはならな

いと考えるが。

#### (4) 老朽化した用水・排水路の修繕対応について

昭和40・50年代に整備された農業用排水路。一部には農業振興地域外(市街)で道路の側溝や生活排水路を兼ねた箇所もある。風化と老朽化が進み、ひび割れや破損による漏水箇所も多く見受けられる。受益者負担を農家に求めるとするが、農地と住宅地が混在する地域も時代と共に増え、非農家の住宅排水も農業用の排水路に流れ込んでいる現状だ。多面的機能支払交付金事業等の活用も考えるが、活用ができない箇所もあると思う。町としてどのように捉え、対応しているのかを伺う。

## 6番 髪口 清隆 議員

#### (1) 自主防災組織について

今年度、利田地区にて総合防災訓練とHUG訓練(避難所運営)が行われた。近年全国各地で起こっている甚大な災害もあり、防災に対する意識は高まっていると思われる。

- ①現在、立山町の自主防災組織率は、また、100%でないならその要因は。
- ②せっかく自主防災組織があるが、「どのように活動すればいいのか」との声もある。訓練はもちろん大事だが、組織間の意見交換や、活動報告の場を設けることはできないのか。

#### (2) 土砂災害について

先月2月5日、神奈川県逗子市で道路脇の斜面が崩れ、歩道を歩いていた18歳の女子高校生が巻き込まれて亡くなる痛ましい事故があった。

- ①この事故を受けて、危険個所の点検や対策は行われたのか。
- ②平成24年2月に土砂災害ハザードマップが作成されているが、それ以降危険個所の変更はあるのか、また次回作成の予定は。

#### (3) ごみの分別について

令和2年に入り、「家庭ごみと資源物(リサイクル)の分け方・出し方」のポスターを作成され、配布された。ほとんどの方はしっかりごみの分別をして出されているが、中には分別されていないごみを出される所や、他の地域から持ち込まれる所があって、見張りをするにも限界があり、カギを掛けると不便だとの話がある。

個人のマナーの問題ではあるが、それだけでは解決できないのでは。町として今後の対応は。

#### (4) 防犯カメラについて

放火に近い犯罪があったり、不審者情報があったりと、近隣住民にとっては心配で子供たちの「外で遊ぶのが怖い」という声も聞かれる。

昨年3月定例会において、犯罪抑止効果のある防犯カメラ設置について質問したところ、「補助金を活用して効率的に増設できるよう取り組んでいく」との答弁を頂いた。

現在の防犯カメラ設置状況と今後の取り組みは。

## 7番 坂井 立朗 議員

#### (1) 移住定住の促進について

- ①最近前向きな発言が聞かれるように感じるが、町の現状は。(話せる範囲で)
- ②雑誌「田舎暮らしの本」2月号の2020年版「住みたい田舎ベストランキング」の北陸エリア

ア 15 位をどのように評価するか。

③更なる仕掛けの必要を感じるが、考えは。

## (2) 町の子どもたちの読解力の向上について

リーディングスキルテストの継続した実施を強く望むものである。そのためにも教育委員会や現場の先生方としっかり協議する必要を感じるが、考えは。

## (3) 有害鳥獣処理施設について

町で建設が予定されている同施設に関し、予定される地元の方々にはしっかりと説明をし、話し合いを進めるべきであると思うが、町の対応は。

# 8 番 石田 孝夫 議員

## (1) 除雪事業者の赤字負担軽減を

除雪の出動回数が少ないため除雪車両借入のリース代が赤字になり事業者を苦しめている。今後、同じことが続けば事業者は撤退し、オペレーターも育たなくなる。町で除雪車両を一括借入するべきではないか。町職員でオペレーターを育てることを検討されたい。

## (2) シンボルロード野沢交差点をラウンドアバウト（ロータリー）に

立山町総合公園への入り口であることや、今後、ヘルジアンウッドへの来場者、多くの催し物開催、砦の丘への家族連れが多く訪れる。乗り入れ車両の増加やスピードを出して走り去る車の抑止力となり、出会いがしらの事故は起こらない。それに伴い、たまご坂下の事故も減ることを期待したい。

## (3) たてポカードに付加価値を

町内の商店では支払いをペイペイなど複数のカードで決済できる。還元率やポイントでは、たてポカードは太刀打ちできず魅力が薄れ利用率が減るのではないかと。

- ① 2 月末までのたてポカード会員数は。
- ② 商店売上のみで月平均のポイントの動きは。
- ③ たてポカード導入後商店の売り上げ向上効果は。
- ④ たてポカードを導入されない商店の理由は。
- ⑤ たてポカードのポイント内容の魅力を上げるための戦略は。

## (4) 地域おこし協力隊・自伐型林業・農業女子の活動について

地域住民に活動内容が見えにくいため、地域住民とのかかわりを持つ機会を増やしてはどうか。

- ① 地域おこし協力隊の生活の場と活動内容について。
- ② 自伐型林業の活動内容について。
- ③ 農業女子の活動内容について。
- ④ 隊員が有意義な活動ができるための応援として地域住民はどのように係われば良いのか。

# 9 番 平井 久秋 議員

## (1) 有害鳥獣受難の年にすべき対策は

去年は、有害鳥獣被害の内、熊の被害が際立った年となった。去年はイノシシ受難の年にしたいと言われた町長であったが、今年はそのに加えて熊受難の年にしていきたいと思う。

さらに、近年ニホンジカを目撃も多くなっている。今まで以上に厄介な有害鳥獣が増えているが、補助を受けた電気柵の多くは、イノシシ用の2段タイプがほとんどだと思うが、ニホンジカでは間に合わない。入れ替えが必要な地区も出てくる。そこで、大幅に増額された予算の中で、何に、どのような施策が施されているのか。

## (2) EV活用で、やさしい町づくり

電気自動車であるが、リチウムイオン電池の登場により、環境にやさしいとも言われ、利点も多い。近年の災害時に蓄電池として利用された例もある。これからはEVの時代が来ると思われるが、その普及に充電施設の充実が必要だ。町では役場前と千寿ヶ原などに設置したが、観光地や娯楽地にはあまり設置されていないのではないかと。

- ①立山博物館や、グリーンパーク吉峰、総合公園など観光客や、人が多く集まる施設での設置は考えていないのか。
- ②称名道路で、昨年試行した通称シニアカーも好評であったと聞くが、今年10月をめぐりに県がここに電動のバリアフリー車両を走らせると聞く。町が始めた事業だったが、今後、どのように対応していくのか。
- ③高齢ドライバーが免許証を返納し、その足代わりになっているのがこのシニアカーだ。これもEVである。町ではタクシー・バスの運賃助成制度があり、遠出をするにはありがたい。だが、いつでも、自由に出歩けるシニアカーが高齢者の行動範囲を広げる。その購入にあたり、国は消費税を免除しているが、町は補助の対象にはならないのか。

## (3) 被災者台帳システムについて

大規模災害発生時に住民の被災状況を一元的に管理する「被災者台帳システム」は、県内自治体では、射水市にしかないと聞く。県によると、舟橋村、入善町、朝日町が準備中だが11市町にはない。人もお金も必要で大変だが、被災者を効果的に援護する観点から有効と思われ、国も自治体に導入を促しているという。4月中には、新たなハザードマップが配布されることから、それを踏まえて優先度を持って準備に取りかかればと思うが、いかがか。

## 【学校給食の地産地消率】

### (4) - 1

わが町の児童、生徒は毎日大変おいしい給食をいただいている。これを支えているのが、町給食センター、食材を提供してくださる農家、また、給食に携わる多くの方々のおかげである。その中で、学校給食において地元食材の利用率である。

- ①平成30年9月議会で質問した際には、地元の利用率は45%であったが、令和元年度ではどうであったか。
- ②滑川市では昨年12月末で、65%を超えている。前年同期の48.9%を大きく上回っている。滑川市を参考に、わが町でも率向上がさらに可能ではないか。

### (4) - 2

新型コロナウイルス感染防止のため、小中学校が休業になり、給食も中止になっている。

- ①予定されていた食材において、納入している農家、業者に今回どのような対応、保証がされるのか。
- ②想定外の休業だったが、今後において「契約栽培」のような取り組みは出来ないか。農家の方に安心して、やりがいを持って作っていただけるような後押しも必要だと思うが、いかがか。

#### (4) - 3

富富富の生産が3年目を迎えたが、県内外での販売において、苦戦していると聞く。県は対策として、この富富富を今年は学校給食に提供することを考えているという。であれば、作付がアルプス農協管内で最も多いわが町で、どこよりも先駆けて給食に採用し、基幹産業の「農業」で、富富富=立山町になるくらいのアピールをすればいいと思うがいかがか。

## 10番 後藤 智文 議員

### 【新年度予算に関連して】

#### (1) - 1 第10次立山町総合計画について

①第九次総合計画の総括・評価はどのようにされるのか。

「安心・活力」「魅力・活力」「人・未来」たてやまと3項目あり、それぞれの基本計画には指標が示されている。どの程度実現できたのか。

②住民アンケートはされると思うが、「町の宝さがし」とか、「10年後の町をどうする」などを町民挙げて討論できる場を設けてはどうか。

③特に若者、女性の意見を取り上げられるような機会を設けるべきではないか。

#### (1) - 2 「たてポカード」について

「たてポカード」は9事業がポイント加算ということになっている。「たてポカード」はだれでも作れるようになっているが、そのうちの交通ポイントだけはマイナンバーカードが必要になる。免許証を返上した人などに与えられるが、このマイナンバーカードがネックになって取得しない高齢者もいる。交通ポイントもマイナンバーカードなしにすればもっと利用者は増えると思うがどうか。

#### (1) - 3 立山グランドデザイン策定について

グランドとは「壮大な」という意味がある。今聞いている限りでは、立山エリアや東谷エリアが取り上げられるようだ。このエリア以外にいろいろな魅力的な地区があり、それら全体を網羅する計画を策定すべきではないか。

#### (1) - 4 釜ヶ淵小学校校舎長寿命化事業について

①なぜ今、大規模改造なのか。

②せっかく大改造した以上、子供を増やす対策を立てていく必要があるのではないか。

#### (1) - 5 不登校について

提案理由説明の中で、「不登校ゼロを目指します」と言われた。大賛成だが、今までと同じような対策ではだめだと思うが新しい取り組みはあるのか。

### (2) 農業について

①町は農業を基幹産業と位置付けるが、今後の方針をどのように考えるか。いろいろな事業の計画がされる中で農業計画も必要ではないか。

②農業後継者問題が大きな課題になっているが、どのように取り組まれるか。

### (3) 総合公園について

総合公園を町民みんなが憩える場所にするために提案する。

①ウォーキング用道路の整備をしたらどうか。健康を保ちたいということで、ウォーキングを

している方が多い。富山県総合運動公園内のクロスカンントリーコースは2.1 kmあるが、多くの方が走ったりウォーキングをされたりしている。コースを設定し、目印や距離を示すことはできないか。

②オリンピック種目にもなり、子供から若者まで人気のあるスケートボードを行えるよう、ボード場を整備してはどうか。

#### (4) 高齢者支援について

高齢者世帯に対するごみ出し支援を検討してもいいのではないか。高齢者の見守りにもなり、また、民生委員などの負担軽減ができると思うがどうか。国も支援している。

#### (5) 防災について

避難者の生活改善が言われているが、避難所体育館に対してエアコン設置に計画的に取り組むべきではないか。体育館のエアコン設置は国も支援している。

#### (6) 合葬墓（永代供養墓）について

2018年12月議会の一般質問で取り上げたものだが、答弁は「検討する」ということだった。その後どう検討されたのか。